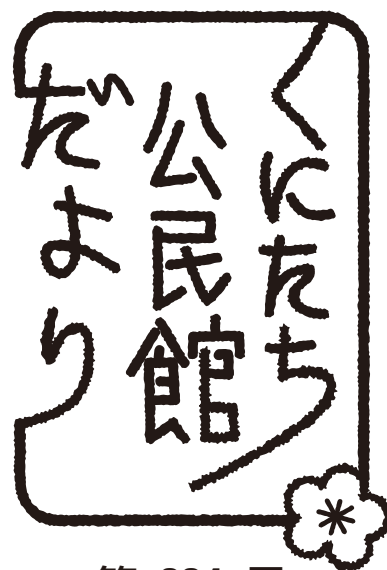




第 664 号

2015年6月5日

(平成27年)

発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

〈介護ライフバランス講座〉昨年度参加者の声
「介護の達人は人生の達人！」

介護短歌を通して家族との関係を見つめ直す

柴田 和美(西)

私は、デイサービスに勤務し、そこで川柳サークルという活動の担当をしています。短歌と川柳の違いはありますが、きつと共通点は多いと思い、参加させていたいただきました。

介護に限らず、言葉に表すことは、自分の気持ちを整理することができます。楽しいことは、良い思い出として残しておき、辛いことは、吐き出して発散させてしまいたいのです。自分を客観視して、ユーモラスに表現することで、また頑張ろうというエネルギーも湧きます。他の人の作品を見て、「ああ、自分だけではないんだ」という励みになることもあります。

ただ、短歌にしろ川柳にしろ、やはり技術やセンスを要します。どのように会を進めればよいのか、ということにも、とても興味がありました。

全二回の講座の一回目は、短歌の技法というよりも、「短歌によって、吐き出す事の大切さ」や「笑う事の大切さ」のお話でした。

介護のいらだちを吐き出し、諦め、受け入れていく、という流れを補佐してくれる短歌の存在。内容はシリアスだけれども、ユーモラスな表現で、つい笑ってしまう短歌は、孤独感や苦勞から、一時の解放感をもたらしてくれます。また、穴埋めクイズのように、

短歌の一語だけが空欄になっていて、それぞれの発想で埋める、という簡単に楽しめる方法も教わりました。これは、仕事の川柳サークルで、早速使わせていただき、大変盛り上がりしました。

二回目は、参加者の皆さんの、作品発表でした。

私は、数年前に義母の介護をしていた時のことを書いてみました。なかなか上手く表現できなかったのですが、

「介護で五七五七七」

～人に言えない思いや不安を吹き飛ばそう！～

今年度の参加者募集中

講師 小谷 あゆみ

(フリーアナウンサー、NHK Eテレ

「ハートネットTV 介護百人一首」司会)

介護をする人、される人が日々の生活の中で感じるつらさ、悲しさ、怒り、笑い、そして優しさ……。こうした思いを介護短歌を通して前向きにとらえてみませんか。

多くの介護体験者と接してこられた小谷あゆみさんに、さまざまなエピソードを聞きながら、介護をする人、される人のオモイを共有できればと思います。

介護の経験がない方も、やがてくるであろう介護や自身の老いを客観的にとらえる機会にしませんか。

回	日時	テーマ
1	6月13日(土)	「介護の達人は人生の達人！」 介護短歌ってどんなもの？
2	7月12日(日)	介護短歌 作品発表会

時間はいずれも昼2時～4時

ところ 公民館 3階集会室 定員 30名

*1回のみの参加も可能です。お気軽にお越しください。

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

褒めていただき、不十分なところは優しくアドバイスしていただきました。
ほとんどの方が介護経験がおありだったので、お互いに共感し、尊敬し合えたと思います。私自身、普段とは違う刺激を得て、リフレッシュした時間を過ごさせていただきました。
ありがとうございました。

ありがとうございます。



昨年度の講座の様子

柴田さんの作品→

あれは誰？ 幻覚を見て叫ぶ義母

天国の義父が見えたらいいのに

平成26年度 講座参加者の声

〈市民のためのまちづくり講座〉

地方自治講座を受講して

山岡 修(北)

本講座全5回では、憲法・地方自治法の著名な研究者と首長経験者が講師に名を連ねることで理論実践両面からの話が聞けて大変有益でした。我が国では、地方行政機関が長く国の下請に甘んずる時代が続く一方で、住民の地方自治への関心も年々低下(50%を大きく下回る投票率や無投票当選者の増加等)している状況下であり、まさに時宜を得た企画であったと思います。

最後の二回は、千葉大学名誉教授の新藤宗幸氏より、地方自治(法)の精神そのものと、それを生かし切れない自治体行政の現状について戦後史の中で有機的に説明されました。自治体の重要な武器となるべき条例に関する「先占理論」や「義務付け枠付け」の解説は正に目からウロコでした。中でも印象深いのは、十数年前の地方分権改革で「機関事務委任制度」が廃止され一定の権限が自治体に移管されたにも拘わらず、その後何ら変わることもなく「国の指示待ち(顔色伺い)」行政が続いているとの指摘です。現場では通達類のみならず何ら法的根拠のない「行政事例集」なるものにも頼る状況があるとのこと。国立市においても「シェアハウスに住むシングルマザーへの児童扶養手当の打ち切り」が新聞報道されましたが、

正に典型的事例に思えます。多くの職員は真摯に努力されていると理解しつつも、類似の事例に事欠かないのではと不安になります。国立市では、議会改革がスタートし一歩動き出したように感じます。しかし行政サイドも含め、法が期待し求めている「住民が主人公の地域に責任をもった地方自治」のあるべき姿を実現していくためには、首長を始め職員全員が改めて地方自治を問い直すとともに、我々市民もその責任を自覚し行動していかなばと再認識した次第です。

教育講座「『寛容』について学び、伝え、考える」を受講して

稲田 清子(東)

私はこの講座を知ったとき、現実の世界・社会は「寛容」というよりも非寛容に満ちていると思えてならなかった。

一月十日から三月七日までの全五回、第一回は「寛容」が道徳教育の中でどのように語られてきたかを学んだ。二回は一橋大学の藤野寛教授による哲学・倫理学の視点から「寛容」を考えるものであった。三回はワークシヨップで、全員が一枚の絵からイメージする世界を絵本に書き上げるようになった。書くことは班別での共同作業だった。四回は完成した絵本の内容を深めるもので、班別の報告

講師は筑波大学及び一橋大学の先生と、一橋の大学院生の浦野歩さんと片岡佑介さん。全回を通して、一橋大学の武村知子教授がコーディネーターとして参加してくださいました。こうしたやり方はとてもいいと思います。今後も続けていきたいと思います。

ワークシヨップでは「子ども達に『寛容』を伝えようとしたら？」というテーマで本を書いた。書く中で自分の弱点を見つけ、周囲の人の優れたところを見出すことがあった。それは日常では見えない私に出会うことであった。書くことは私を知る事であり、他者との「違い」を知ることであった。書くことは「寛容」を学ぶことであつたと私は思っている。互いの「違



杉原教授のお話に熱心に耳を傾ける受講者



教育講座には幅広い世代の方が参加されました

「若者の生きる力を育む 家庭・教育・地域の
役割」に参加して「連携」を考える
笠井 素子(西)

川崎で当時中学1年生の生徒が亡くなる痛ましい事件がありました。周囲の大人は何をしていたのか、様々な検証が行われています。地域のつながりがうすれた今、個人情報や、それぞれの仕事の多忙さもあり、異なる立場の人が迅速に横につながることもや家庭に入り込むことのむずかしさが言われます。私は、市内で精神保健福祉の仕事に従事していますが、自分がそのような家庭に関わっていったら、いったい何ができたのだろうと思うにはいられません。立場を越え連携していくことのヒントを得たいと思い、三月一四日に開催された講演とシンポジウムに参加しました。

後半のシンポジウムの中では、通信制高校、教育センター、若者サポートステーション、公民館、それぞれの立場の方が不登校やひきこもり、就労支援にどのように取り組んでいるのか話されました。講師の早川信夫さんは、どうしたら異なる専門職のぶつかり合いを乗り越えられるか、どうした

ら家庭に受け入れられるのかを問われていて、まさにそこを考えたところだなと思いました。たちかわ若者サポートステーションの方が、どのように学校に受け入れてもらっているかという話をされ、興味深く聞きました。

害や福祉を知り学ぶ機会がもつとあってもよいのではないかと思います。知り学ぶことで、もっと身近なものになり、治療や制度につながりやすくなるのはもちろんのこと、他者や自己への理解が深まり、幸せに暮らすために何が必要かを考えるきっかけとなり、生きやすさにつながるのではないかと思います。知り学ぶことは、今回のテーマである連携にとっても潤滑油のような役割を果たすだろうと思いました。

「い」に気が付き、そして認め合うことができれば「寛容」の第一歩なのではないだろうか。「違っているからいいんだ」と思えないだろうか。それが今とても大切なことのように、私は思えてならない。



教育講座第5回は山中教授と藤野教授の対談

〈公民館の窓〉
新たな発見と
地域の仲間づくり

公民館で高齢者を対象とした「シルバー学習室」を担当して3年目になります。

この講座は、国立市内に暮らす仲間との交流を深めていくことを目的に、1980年から始まり、今年で36回目を迎えました。年30回以上の講座があり、ほとんど毎週講座があるので、通うのが大変だと思のですが、受講者の学習に対する意欲に感心するばかりです。料理や自然観察などいろいろな講座があるので苦手な内容もある

と思うのですが、それでも真剣に取り組み参加する姿勢は、見習わなくてはと気が引き締まる思いです。

初回は私も受講者も緊張しながら集まるのですが、回を重ねる毎に打ち解けていく様子を見ると、とてもうれしくなります。ここで出会った仲間たちとの交流は講座終了後も続き、卒業生でつくられている「心遊会」へとつながります。

今年度もシルバー学習室が始まりました。どんな出会いや学習が待っているのでしょうか。皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

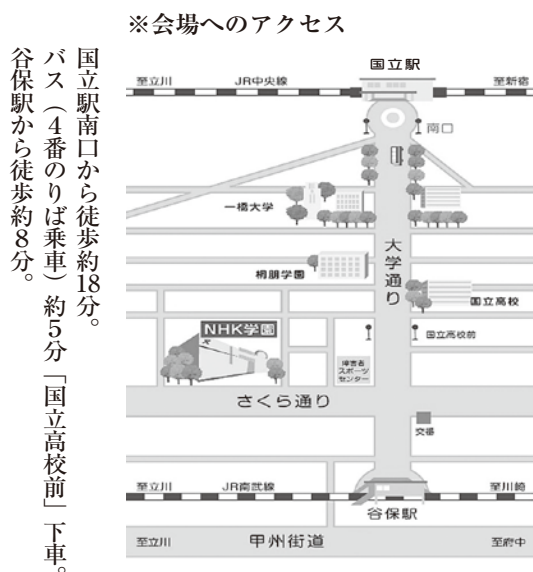
平成26年度 講座参加者の声



早川信夫さん



シンポジウム「若者の育ちを支える地域ネットワーク」



公民館・NHK学園高等学校共催・若者支援セミナー

地域で支える若者の生きる力

—不登校の経験から・・・未来へ—

地域には不登校やひきこもりで悩む子ども・若者、その家族がいます。子ども・若者が自分らしく自立できる環境をつくるために、なにができるでしょうか。今回は、当事者やその保護者のお話を交えて考えたいと思います。

講師 さだかた ひかり
定形 光

(NHK学園高等学校スクールカウンセラー)

体験談 当事者・保護者数名(予定)

とき 6月21日(日) 昼2時～4時

ところ NHK学園東京本校(国立市富士見台2-36-2)

対象 主に、中学生から30歳ぐらいまでの生徒・若者及び保護者の方 定員 30名(申込先着順)

申込先 公民館へいずれかの方法でお申込みください。

☎ (572) 5141 FAX (573) 0480

メール a20@whi.m-net.ne.jp

〈くにたちブッククラブ 記憶をたどり歴史を問う〉

谷崎潤一郎「春琴抄」

(新潮文庫)

講師 大野 亮司(亜細亜大学・日本近代文学)

とき 6月11日(木) 夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読みを出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

〈図書室のつどい〉

ロボットと人が共存する社会

～最前線から未来の姿を探る!～

お話 本田 幸夫(大阪工業大学)

世界トップとされていた日本のロボット技術。実は知らず知らずのうちに、ロボットは私たちの生活の場に入り込んできています。

本田さんは「ロボットが神となるか、悪魔となるかは、ロボットをどのように受け入れるかという、私たち一般市民の選択にかかっている」とおっしゃいます。人間はロボットをどう受け入れ、使いこなしていくのか。日本のロボット開発はどうあるべきか。ロボット技術が開く未来社会を一緒に考えてみたいと思います。

〈本田さんの本〉

『ロボット革命』(祥伝社新書) ほか

とき 6月27日(土) 昼2時～3時半

ところ 公民館 3階集会室 定員 30名(当日先着順)

*ご自由においでください。

シネボックス 公民館シネマトーク

《映画女優・オードリー・ヘプバーン特集②》

『シャレード』 CHARADE

1963年 アメリカ カラー 113分

監督 スタンリー・ドローネン

音楽 ヘンリー・マンシーニ

出演 オードリー・ヘプバーン

ケリー・グラント

ウォルター・マッソー

ジェームズ・コバーン

ジョージ・ケネディ ほか



5月に引き続き、2か月連続でお送りする《映画女優・オードリー・ヘプバーン特集》。先月の『ローマの休日』に続く第2弾は、女優としての絶頂期を迎えたオードリーの魅力全開、ロマンティック・サスペンスの傑作『シャレード』です。パリを舞台に、ジバンシーのドレスを華麗に着こなし、大女優ならではの成熟した優雅さと気品に溢れたオードリーの、ため息をつきなくなるほどの美しさを是非ご堪能ください。

〈シネマトーク〉

「オードリー・ヘプバーン 少女からレディへ」

北里 宇一郎(脚本家)

とき 6月28日(日) 昼2時～5時(開場昼1時)

ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

*DVD版での上映になります。ご了承ください。

＜食の安全と安心を考える＞

健康食品と医薬品

講 師 石見 佳子 (国立健康・栄養研究所)

健康志向やアンチエイジングブームの中、この4月から、これまでの特定保健用食品（トクホ）と栄養機能食品に加え、機能性表示食品制度が導入され、この夏にも、そうした製品が店頭に並ぶようになるといわれています。

こうした新しい食品表示制度をめぐり、私たち消費者は、そのリスクは何か、医療品との違いなどを正しく理解し、賢く取り入れていけるようになりたいものです。

今回は、「健康食品」等の成分分析や調査研究を行っている石見さんのお話をうかがい、食の安全・安心について考えていきたいと思います。

と き 7月5日(日) 昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

定 員 35名(申込先着順)

申込先 6月12日(金) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

第60回く に たち 市 民 文 化 祭

～開催予定期間が決まりました！～

今年のく に たち 市民文化祭の実行委員長と開催予定期間が決まりました。

日ごろのグループ活動の成果を発表したいというサークルの方は、公民館にご連絡ください。

◆開催予定期間

平成27年11月1日(日)～12月6日(日)

* 詳しい日程や行事の内容については、公民館だより10月号等でお知らせします。

◆実行委員長

古閑 邦子

(着付けサークルかのこ)

◆次回実行委員会

と き 6月25日(木) 夜7時～

ところ 公民館 地下ホール

問合先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



昨年のオープニング式典

8月・9月全面休館に伴うお知らせ

公民館では、6月から11月まで空調設備の入替工事を実施します。工事に伴い、8月・9月の2ヵ月間を全面休館といたします。また、7月及び10月についても、施設の一部が使用できなくなります。工事に関する情報については、公民館だより、館内掲示、市ホームページ等でお知らせいたします。

なお、工事のため、6月から建物外周の一部でバリケードを設置します。駐輪場の一部が使用できなくなりますので、ご来館の際は、なるべく自転車はお控えください。また、公民館利用時以外の駐輪場のご利用は固くお断りします。

■今後の会場調整会日程

会場使用希望月	ロビー使用希望月	申込書のポスト投入期間	会場調整会(地下ホール)
27年7月	27年8月(使用不可)	5月2日(土)～6月4日(木)	6月6日(土)午前10時
27年8月(使用不可)	27年9月(使用不可)	8月と9月は工事のため、 会場の使用はできません。	
27年9月(使用不可)	27年10月(使用不可)		
27年10月・11月	27年11月・12月	10月1日(木)～10月8日(木)	10月10日(土)午前10時
27年12月	28年1月	10月10日(土)～11月5日(木)	11月7日(土)午前10時

工事期間中の会場調整会について

- ・7月分の会場については、ロビー・音楽室・小集会室を除き、通常通り月末までご使用いただけます。ロビーは7月21日(火)から、音楽室及び小集会室は7月28日(火)から使用できなくなります。
- ・調整会に参加しない団体も、調整会当日の午後2時から、2階事務室で空いている会場の申込みができます。また、電話での仮予約は午後3時から受付けています。
- ・10月分と11月分の会場調整会は、10月10日(土)同日時間帯で実施する予定です。

国立市公民館60周年記念 〈連載〉シリーズ・私と公民館①

4月に「公民館60周年記念事業実行委員会」が発足、現在記念事業の準備が着々と進められています。そこで、公民館だよりでは「シリーズ・私と公民館」と題して、公民館との関わりを市民の皆さんに書いていただく連載をスタートします。初回は、実行委員会委員長に書いていただきました。

山家 利子 (元国立市公民館運営審議会委員長 [第26期])



第1回実行委員会には12名の方が参加されました

くにたち公民館は今年60周年を迎えます。公民館が作られた1955年、私は関西のまちで暮らして、まだ小学生、「公民館」という言葉も知りませんでした。しかし、映画『町の政治―べんきょうするお母さん』(1957年)に登場する女性たちは、私の母の世代でもありました。40年前、国立市に移り住んでから「公民館」が身近になりました。そしてつくづく思ったのは、もし私の育った町にくにたちのような公民館があったなら、母や父は費用の心配もなく自由に講座などに参加し、学び、人と出会って、人生をずっと豊かなものにできただろう、という事です。

2年あまり前、私も参加している「くにたち公民館をまもる会」が「公民館に入ったら、世界が広がってしまった。」という催しを開きました。この集まりは公民館を利用しての7団体8人の方による活動発表会でした。そこでは、来日外国籍市民への日本語教室、講座から生まれた長年続く読書会、町を知る講座から高齢社会を考える活動につながった体験、公民館喫茶コーナーの活動など、さまざまな形で市民が公民館を活用している様子が報告されました。私はそこに参加して、公民館がそれぞれの人にとってかけがえのない存在であり、市民の学びや人とのつながりを保障する場になっているというのを改めて知り、感銘を受けました。助言者の上田幸夫さん(日本体育大学教授)は、「人々の世界が広がっていくことは『社会の財産』であり、それが公民館の目的です」と話されましたが、同感でした。

さて4月21日、公民館60周年記

* 実行委員会の活動 *

第2回(5月13日)、第3回(6月4日)実行委員会を開催しました。イベント・広報・記念冊子の3つの部会に分かれて具体化の議論をしています。第4回実行委員会は、6月24日(水)夜7時～9時。はじめての方もお気軽にご参加ください。申込・問合せは公民館まで。

公民館 ☎ (572) 5141

念事業実行委員会が発足し、思いがけず私が実行委員長を務めることになりました。第1回実行委員会でのみなさんの活発な議論を聞きながら、この機会に公民館がどんなところか市民にもっともっと広く知ってもらいたい、公民館について考え合う機会にしたい、そして実行委員自身が公民館を深く味わう機会にしたいと、自分の非力な力を棚に上げて、しみじみと思つた次第です。

ご参加、ご協力よろしくお願ひします。

公民館運営審議会報告

5月12日(火) 第30期第7回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名が出席。傍聴2名。

前回の議事録確認

議題

○人事要望書の提出について
4月1日付けをもって、公民館職員に異動があった件につき、人事要望書を提出することとなった。文案について各委員が意見を出し合い審議。提出日については、事務局を通して調整する。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会
5月号は、例年と違い公民館事業の基本方針と年間予定が同時に掲載されており分かりやすかった。

○社会教育委員の会
諮問「家庭教育支援の充実について」の答申を提出した。次回定例会にて内容を紹介。5月より、間瀬委員が担当する。

○東京都公民館連絡協議会
4月22日、新年度第1回の委員部会が狛江市で開催された。旧年度の事業報告並びに新年度の事業計画について説明あり。委員部会長は狛江市が務める。

○その他
4月1日付けにて、新たに配属された職員の紹介あり。台風の影響により、予定より早く閉会。

次回は6月9日(火)午後7時15分から。傍聴歓迎。(龍野)

ひろば

(8ページにもあります)



アップルミントの蜜は、どんな味？

撮影 加藤興一さん(東)

〈社会体育事業〉 国立市スポーツ推進委員について

今期のスポーツ推進委員が下記名簿のとおり委嘱されました。今年度の社会体育事業について見直しを行っており決定次第、公民館だより等でお知らせします。

スポーツ推進委員名簿

氏 名	専門スポーツ	備 考
森本 敏幸	ソフトボール	議長
坂 なつこ	バスケットボール バレーボール	副議長
塩野 啓子	体 操	
浜田 建司	アウトドアスポーツ	
保坂 智子	水 泳	
仁科 渡	サッカー	
増田 徹	障害者スポーツ	
長谷川 洋子	新体操	新任
吉野 たけし	トライアスロン	〃
五十嵐 治	サッカー・柔道	〃
森西 智子	バスケットボール バドミントン	〃

任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日

問合先 教育委員会生涯学習課

社会教育・体育担当 ☎ (576) 2107 (直通)

「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。
原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です。(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。
公民館備付けの原稿用紙に団体名・サークル名を含めてお書きください。氏名には振り仮名をふってください。
会員募集は6カ月に一回掲載することができ、紙面の都合により翌月掲載となることがありますので、ご了承ください。

グリーンコーラスへのおさそい

設立して18年、童謡からクラシックまで幅広く歌ってハーモニーを楽しんでいます。高齢者の方から若い方までわきあいあいに楽しくしております。男性大歓迎。
日時 第二、四水曜日見学歓迎
場所 公民館 音楽室・ホール
連絡先 森下(575) 0456

「国立カントリービル」会員急募

4月に発表会を終えた混声合唱団です。来春6回目の発表会にむけ練習を始めます。初心者の方歓迎、共に基礎から学んでいきましよう。男女会員大募集、見学可。
日時 第一、三金曜日昼1時
場所 矢川集会所
連絡先 清水(575) 9440

北バドミントンへのお誘い

ビニールシャトルで1面使用中。他の2面を水鳥のシャトル持参で凄技の面と羽根つきの様に遊ぶ面と分けて活用したいと思っています。耐震工事完了で快適になりました。
日時 毎週土曜夜7時～8時50分
場所 第四小学校 体育館
連絡先 今堀(572) 2798

講演会「遊廓のストライキ」

1920年代に頻発した芸娼妓のストライキを彼女たちの視点で追った著作「遊廓のストライキ」(15年3月刊)の著者山家悠平さんのお話。主催希望社会研究会他
日時 6月14日(日)昼1時半～4時
場所 公民館 3階講座室
連絡先 奥原(80) 1488

国際友好会WINGの会

6月のWING異文化コミュニケーションの会は、一橋大学留学生のチョウさんにミャンマーの歴史や文化、成長著しい現状について、紹介していただきます。
日時 6月18日(木)夜6時半
場所 一橋大学 国際交流会館
連絡先 和田(90) 2110

水彩画「パレット」作品展

第10回サークル会員による作品展を開催します。今回も日ごろ楽しみながら描いている作品を展示しますので、ご覧ください。
日時 6月23日(火)朝11時～28日(日)夕5時
場所 公民館 1階ロビー
連絡先 吉田(525) 5930

災害時の口腔ケア

どんな時でもお口の中を清潔に保ち健康維持するための口腔機能向上について秋山先生に講義と実技を教えてください。一般の方の参加も大歓迎。KUNIBO
日時 6月24日(水)昼1時～2時頃
場所 公民館 3階集会室
連絡先 山崎(574) 4052

第201回くいしんぼクラブ ベトナム料理

ヌーさんニャムさんご夫妻に牛肉とパイナップルの炒め物、豚肉とゴーヤのスープを習います。材料費800円。持ち物はふきんとゴミ袋。
日時 6月27日(土)昼1時
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 1007

今月の公民館 (6月、7月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

11日(木)夜 くにたちブッククラブ

谷崎潤一郎『春琴抄』

13日(土)昼～介護で五七五七七

21日(日)昼 地域で支える若者の生きる力

—不登校の経験から・・・未来へ—

25日(木)夜 文化祭実行委員会

27日(土)昼*図書室のつどい

「ロボットと人が共存する社会」

28日(日)昼*シネボックス CINEVOX

公民館シネマトーク『シャレード』

7月5日(日)昼 食の安全と安心を考える

「健康食品と医薬品」

ひろば

(7ページにもあります)

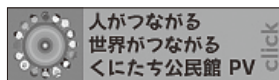
撮影 そろそろ梅雨入り?
加藤興一さん(東)



* 公民館活動紹介映像の公開 *

昨年度から準備していた60周年記念企画・公民館活動(生活のための日本語講座等)を紹介した映像が5月に完成し、国立市ホームページから閲覧できるようになりました。

国立市ホームページで
右の画像バナーをクリック!→



マトリョーシカの会コンサート
ゲストは東京外国語大学ロシア
民謡研究会ルムックです。会員と
のコラボレーションのほか参加者
全員でロシアの歌を歌います。カ
ナ付きの楽譜あり。資料代500円
日時 6月28日(日)朝10時～11時半
場所 公民館 地下ホール
連絡先 大貫(572) 5214

「高齢者の居場所ガイドブック」
パネル展
「高齢社会を支える地域の絆づ
くりの会」は、「高齢者の居場所
ガイドブック」(無料)を発行し
ました。パネル展を開催します。
日時 6月30日(火)～7月5日(日)
場所 公民館 1階ロビー
連絡先 大井090(694) 8984

〈サークル訪問2015〉 くいしんぼクラブ

台湾からの留学生がキウイをス
ライスし「パプロバ」に飾り付け
る。土曜の午後、福祉会館の料理
講習室では、ニュージーランド料
理に挑戦する25名ほどが、講師の
説明に熱心に耳を傾けていた。

今回はベーコンたっぷりの「マ
カロニチーズ」と、メレンゲを焼
いたデザート「パプロバ」を呉さ
ん、ギルバートさんご夫婦から教
えていただいた。

幅広い世代の参加者が四班に分
かれ、分担し、時に相談、教え合
いながら手際よくレシピをこなし
ていく。料理が完成し講師を交え
て試食が始まる。出来上がりはそ
れぞれ違うが、初めての味に皆さ
ん満足げな笑顔である。

「くいしんぼクラブ」は、「料理
という人間共通の食文化で世界一
周の旅をしようと、毎月一回世界
の料理を楽しく作る」国際交流の
サークルである。97年に始めた活
動は二百回を超える。翌月は先の
留学生らが台湾料理の講師になる。
代表の八宮さん、永戸さん、増
田さんの三人が中心となり、講師
の依頼、レシピの作成、当日の材
料、会場の準備から参加者のサポ

ートまでこなす。

講師や留学生の異国の話を楽し
みに、毎回来られる方も多い。「欠
席の連絡を必ずくれる皆さんの心
遣いが嬉しい」と八宮さん。今回
はお母さんと小学生の息子さんの
参加があったが、お父さんと娘さ
んももちろん大歓迎とのこと。

国際交流ならではの難しさもあ
るようだ。教えてもらう料理の材
料が揃うか、自分たちに作れるか、
食文化の違いに戸惑ったりもしな
がら、事前に講師と一緒に本番さ
ながら試作し、日本語のレシピを
完成させる。

6月27日(土)はベトナム料理。講
師の方にとっても新たな発見、出
会いの場となるはずだ。

連絡先 八宮(571) 1007

〈文・写真 隈井裕之〉



できあがりを楽しみ!